

べっぴん 市議会だより

No.41 平成11年8月1日

編集 市議会だより編集委員会

発行 別府市議会

住所 ☎874-8511

別府市上野口町1-15

☎0977-21-1111



暑い夏
大好きな子ども達

景気回復に配慮した「肉付け予算」原案どおり可決

6月定例会は、6月11日から24日までの14日間の日程で開かれました。
一般会計補正予算では、補助事業費の積極的な受け入れや生活に密着した都市基盤の整備を図るため、財源の重点配分による単独事業費の計上など景気回復に配慮した肉付け予算として、総額19億3,734万円を追加する平成11年度各会計補正予算をはじめ、条例の一部改正、専決処分など、市長提出議案21件の審議が行われ、すべて原案のとおり可決、承認及び同意されました。

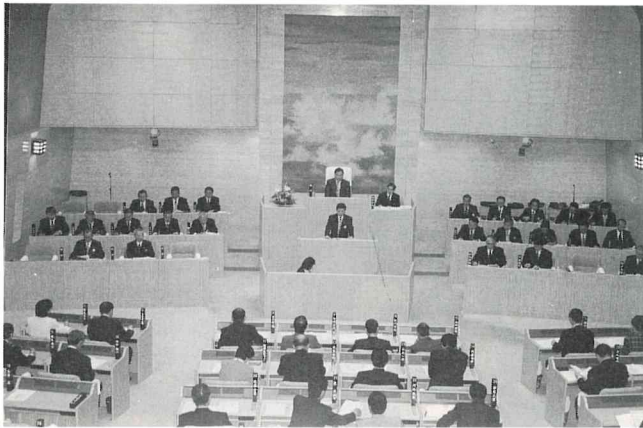
主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



6月定例議会風景

主な議決

六月定例会では、予算や条例案件など十七件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。

これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決、承認されました。

最終日に、市長から四件の人事案件が提案され、原案のとおり同意されました。

議決された主な議決内容は、次のとおりです。

補正予算

◎平成十一年度一般会計補正予算

〈第一号〉

(原案可決)

今回の補正額は、十三億九千九百四十万円で、主な補正内容は、景気対策に配慮した「肉付予算」として当初予算と合わせた総額は、三百九十四億九百四十万円となりました。

戸籍住民関係では、除籍・改製原戸籍の破損等による滅失防止や事務の効率化のため、これを再製・マイクروفイルム化するための経費や、

土木関係では、秋葉通線道路改良事業費や老朽化が進んでいる「朝日橋」を補修・補強するための経費を、また、教育関係では、「教育・児童・生徒減少期検討委員会」の報告を受けて、学校規模の適正化等を推進するための経費などに支出しようとするものであります。

条例の一部改正

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (原案可決)

別府市情報公開条例を施行するに伴い、別府市情報公開審査会委員の報酬及び費用弁償に関する規定を整備するため、条例を改正しようとするものです。

◎恩給等の年額の改定に関する条例の一部改正について (原案可決)

恩給法等の一部を改正する法律に基づき、恩給年額の計算の基礎となる仮定俸給年額が平成十一年四月分以降、〇・七〇パーセント引き上げられるとともに、遺族扶助料の加算額が引き上げられたこと等に伴い、条例を改正しようとするものです。

六月定例会 会期の経過

九日 議会運営委員会

十一日 本会議

(議案上程、提案理由の説明)

十四日 本会議

(議案質疑、委員会付託)

十五日 本会議 (一般質問)

十六日 本会議 (一般質問)

議会運営委員会

十七日 本会議 (一般質問)

十八日 各常任委員会

二十一日 各特別委員会

二十四日 議会運営委員会

本会議 (上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決)
特別委員会

◎別府市手数料条例の一部改正について (原案可決)

別府市立図書館における図書の写し交付事務に係る手数料を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例等の一部改正について (原案可決)

市有温泉施設等において洗髪料を徴収しないこととするに伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(原案可決)

別府市営阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場のバンガロー等の廃止に伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

(原案可決)

湯山簡易水道事業の給水区域等を改めることに伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市消防団条例の一部改正について

(原案可決)

消防団員の報酬の支給方法等に係る規定を整備するために、条例を改正しようとするものです。

◎別府市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

(原案可決)

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改

正する法律に基づき、別府市消防団員に係る退職報償金の額を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

◎別府市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

(原案可決)

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令に基づき、補償基礎額等を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。



その他

◎工事請負契約の締結について

(原案可決)

北部中学校教室棟補強・大規模改造工事に伴い、工事請負契約を締結しようとするものです。

◎市長専決処分について(六件)

(原案承認)

地方税法の一部改正に伴い、別府市税条例や別府市都市計画税条例等を整備しようとするものなど六件を市長により専決処分したものです。

人事

次の議員が、農業委員会委員に選任されました。

河野数則 議員

江藤勝彦 議員

伊藤敏幸 議員

村田政弘 議員

次の人が、固定資産評価審査委員及び人権擁護委員に全会一致で同意されました。

○固定資産評価審査委員

鳴海淳郎氏(再任)

桑原寿一氏(新任)

○人権擁護委員

有田陽子氏(再任)

三浦徹雄氏(新任)

意見書

議員より意見書3件が提出されましたが、次のとおりすべて原案可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

○じん肺罹患者の救済とトンネルじん肺根絶を求める意見書

○学校事務職員・栄養職員の人件費半額国庫負担制度を堅持し、義務教育費国庫負担制度の見直し反対に関する意見書

○「食料・農業・農村基本法」に基づく「関連施策」の充実を求める意見書

傍聴のご案内

◆本会議はどなたでも傍聴できます。

◆お気軽に議会棟四階へお越し下さい。

◆傍聴席は八十席あり、車椅子席も七台分用意されています。

◆次の定例会は九月上旬に予定しております。



案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

六月十四日に五名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載いたします。

立命館アジア太平洋大学への給水について

問 別府市水道事業及び簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正については、湯山簡易水道事業の給水区域等を改正とあるが、これは立命館アジア太平洋大学にかかわるものと理解していいのか。

答 現在の区域をさらに周辺の静雲荘、十文字のテレビ塔、別府湾サービスエリア、それに大学を含めた区域の変更を行うものであります。

問 立命館大学関連の大きな柱である、上下水道のインフラ整備については、当初の概算として五億三千万円とのことであったが、その後、大幅な狂いはないのか。また、湯山からの給水について工法上どのような

形を取っていくのか。

答 大学への給水については、湯山水源の活用、温水のタンクからの押し上げ、天間水源からの活用、大所の湧水の活用、現地でのボーリング、丘水路の活用等、六点について検討した結果、環境面、用地面、費用面、それに維持管理面等、精査した結果、最終的に湯山水源から給水することが、ベターであろうという結論に達した。事業費については今回の湯山地区からの給水につきましては、総体的に約一億九千万円、周辺対策の大所の湧水については、約二億二千万円の予定であり、トータル約四億一千万円で事業費を上げたい。給水は、二月一日にテスト給水を行い本格給水については開校までにスケジュール通り事業を進行させたい。なお、工法については、自然流下方式で行う。

学校適正化対策について

問 少子化が進行する中で、学校の統廃合と通学区の再編は避けて通れない大きな課題であり、今議会に学校適正化対策費及び通学区区域審議会に要する経費が計上されているが、これは小規模校統廃合、例えば南部地域を想定して審議会を作るということか。

答 学校規模の適正化については教育委員会が検討委員会をつくって三年の年月をかけて答申が出された結果により、適正な学校規模として『十二学級以上十八学級以内』とする方向性が示されており、これの対応策として学校の統廃合と通学区の再編が提言がされたところである。通学区区域の再編については通学区区域審議会を発足させ調査検討し区域を定め、地域や学校関係者に話を進めたいと思う。統合については八月頃までに学校統合実施計画案を策定し地元の窓口として学校規模適正化校区委員会を設置し、地域の皆様のご協力やご理解をいただきながら取り組みたいと思う。

問 学校規模の適正化と統廃合は非常に大事な部分であると同時にデリケートな部分でもある。自治会組織

との関連が深いので地域の声を十分に聞き通学距離や時間などを考慮して進める必要がある。また具体的に旧市街地（浜脇、西、南、青山、野口、北校区）の学校単位の統廃合を考えているのか。

答 学校統合については検討委員会の答申書の中で旧市街地と位置づけられている。旧市街地はすでに小規模化しており、今後も生徒の増加の見込みが予測、期待できないので統合を望むと報告されている。したがって、この六校の学校間の距離、小規模化の進行度合い、校舎の老朽化程度などを勘案し三校に統合する計画だ。また第一期として南小学校と浜脇小学校の統合計画を決定したところである。具体的には十月ごろに地元の自治会、自治委員、学校関係者、PTAの代表者、市会議員の方々から成る学校規模適正化校区委員会を設置し、この計画を下ろして協議し地元の御協力をいただきながら進めたいと思う。

問 大規模改修を終えたその学校が整備・統廃合の対象校になって改修が無駄になるようなことのないように、それと過去に大規模改修を実施した学校が統廃合から聖域として対象外になると今後の計画を進める上で障害となるので指摘しておく。

一般質問

猿渡 久子
 平野 文活
 野田 紀子
 田中 祐二
 後藤 健介
 富田 公人
 泉 武弘
 岩男 三男
 内田 有彦
 矢野 彰
 吉富英三郎
 野口 哲男
 堀本 博行
 高橋美智子
 井田 逸朗
 清成 宣明
 河野 数則
 原 克実
 伊藤 敏幸
 村田 政弘
 (議席順)

市立別府商業高校について

問 立命館アジア太平洋大学の開学がいよいよ来年に迫り、大学進学に対する市民の関心が高まっている。別府も進学率が割合高い上、市立の学校でもあるのだから、市民の要望に応える必要があるのではないか。
答 現在、県立高校においても特色

一般質問は、市の行政全般にわたる事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。六月十五日から十七日までの三日間、二十名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。



今後の在り方が注目される別府

ある学校等の設置に取組んでいる。今後の高校の在り方を含め、将来の構想を考える時期にきている。学校現場及び教育委員会等で十分検討していきたい。

小・中学校の統廃合の実施は

問 幼児、児童、生徒減少期検討委員会の答申による小学校の統廃合については、いつ頃から、どの小学校から始めるのか。
答 答申に沿って十月頃から具体的に行動したい。自治会、PTAをはじめ地域との協議を進め、三年くらいを目途に実施したい。まず、南小学校と浜脇小学校の両校が対象となる。今後対象校があるのでモデル校となるよう、喜んでいただける学校作りに全力投球をしたい。

観光行政について

問 観光課、観光協会、コンベンションビュロー三者の業務を見直し、費用対効果の面からも効率的な新組織を編成すべきだ。
答 関係箇所とも協議検討したい。
問 市内の観光看板標識等をお客様の目線で整備設置すべきではないか。
答 充分検討し、設置したい。
問 スポーツ観光の定義は一過性のものでなく、例えば別府ゆけむり綱引大会の国際大会等、毎年開催されるスポーツの振興を図るべきだ。
答 提言を参考に取組みたい。

観光振興の充実及び環境問題

問 永年別府観光に貢献してきた別汽船の別府～広島航路の廃止に伴う中国地方からの誘客対策は。
答 東京・大阪・福岡で毎年開催している観光行政懇談会を今後は広島も重点地区の一つとして取組む。
問 環境問題は将来を担う子供たちにとっても大きな問題である。子供たちにどのような教育をするのか。
答 小中学校の授業の中で取組んでいるが、今後もリサイクル等も含め積極的に指導していきたい。

介護保険制度について

問 介護保険制度は、運営主体は市で、四十歳以上の国民に加入義務がある。保険料は高齢者や障害者の年金からも徴収される。保険料の公表とその減免は。介護保険制度の市民への広報計画は。
答 保険料公表と減免は国や県の補助動向、政令、介護サービスのニーズの把握等を見定める必要があるのではばらく検討したい。広報は十七小学校区で七月から八月末まで町内にチラシを掲示し、説明会を開く。

介護保険制度の取組みについて

問 介護保険制度に向けて昨年度、

介護認定のモデル事業が実施されたが、どんな問題点があったのか。市民への広報が十分ではないのではなか。調査員や認定審査員の研修が必要ではないか。

答 モデル事業の結果、一次判定から二次判定での変更が四十九件あるが、今後厚生省から新しいソフトが配付される予定である。市民への説明会は七月から八月にかけて、十七校区ごとに開催するようにしている調査員等の研修は県とともに進めていきたい。

市役所等の バリアフリーを改善

問 障害者用トイレなどの整備が進んできたが、利用しやすくするため道路際に障害者用トイレの案内表示板をつけてはどうか。点字ブロックは弱視の方のため黄色に改善を。市役所玄関前などの床の滑る部分や側溝の蓋は、足が悪い方も安全に通れるように改善をすべきだ。

答 市庁舎に関しては改善をする。出張所等、市の施設も関係機関と協議する。また、障害者用トイレマップを作り、市役所などで配付する。

チャイルドシート 対策について

問 来年四月一日より着用が義務化されるチャイルドシートは、安全性からは必要な制度と思うが、行政として安全普及の方法は。また子供を持つ家庭にとっては経済負担が大きい。次の点について制度化を図ってはどうか。①チャイルドシートのリサイクル化②チャイルドシートの貸出制度の導入③三歳未満児を対象に購入に対する一部助成金等の導入。

答 安全着用と推進へのPRに取組むとともに各関係課と協議の上、実施に向け十分検討していく。

老人・高齢者に 優しい回収を

問 老人や障害者にとって、不燃物を抱えて近くのステーションまで運び込むことは、容易なことではないが、当局として積極的に善処するつもりはないか。

答 そういう不便な方々に今のところこうしたいという名案はないが、個々に連絡いただければ、出向いて状況等を把握して、対処させていたきたい。

指定ごみ袋の 差益金の活用は

問 指定ごみ袋制度が始まり二年経過し、市民の間に定着しつつある。

有料に伴う差益金は、どのように活用されているのか。

答 差益の多くをゴミ減量化及びリサイクル推進に要する経費の中の諸事業に充当している。その一例として、自治会への美しいまちづくり奨励事業補助金を設けている。また、有価物回収奨励金の単価を見直し、県下でもトップクラスの金額に改定し子供会等の活動を支援している。

産業廃棄物処理場 について



古賀原の産業廃棄物処理場

の汚染、ダイオキシン発生への不安がある。どう対応していくのか。

答 水源は現在安全だ。六月三日に住民と業者、関係機関で意見交換した。住民がどんな方向で解決を図るのかを見極めながら、関係機関と協議して住民の不安解消に努めたい。

立命館アジア太平洋 大学について

問 立命館アジア太平洋大学の学生厚生施設が施工途中で解体され、建て替えとなった。杭の本数が当初確認申請時の二百九十七本と違い、二百三十七本になっているが、市の監督責任や安全性に問題はないのか。

答 施工ミスとは言え、議員、市民に心配をかけ心苦しい。杭の変更届は出されたが、解体再施工の報告が遅れたことに対し、監理者に始末書を、大学には厳重注意をした。再施工中の建物については構造耐力上問題はない。

立命館アジア太平洋 施設解体工事について

問 西へ二M測量ミスで位置がずれ業者の信用を理由に解体し、再施工する理由は納得できない。現場内に測量基準点が九カ所もあり、測量ミスなど考えられない。本当の理由は

問 市内古賀原の産業廃棄物処理場は、大分市の業者が平成十年六月に県の許可を受けたもので、処分地から約百五十メートル程離れた所に水源があり、飲料水としている。水源

約三十Mの谷を埋土した造成地に打った基礎杭が底まで届いていなかったために地盤沈下と地滑りが起こったという専門家の指摘もある。

答 現地調査での大学の説明では位置のずれであった。市の対応は不十分であり、反省している。今後注意したい。

W杯キャンプ 問題について

問 二〇〇二年W杯の公認キャンプ地誘致に名乗りを上げるかどうか、非常に難しい問題だ。施設整備はしたもののチームが来ないことも十分考えられる。誘致しなければいけないいろいろな言われる。施設など条件整備にどのくらいの予算がかかるのか。

答 約五億円かかると思われる。どう対応すべきか苦慮している。最終的には苦渋の選択をしなければならぬ。

ビーコンプラザの 管理運営について

問 ビーコンプラザの管理運営については、別府コンベンションビュローに委託されているが、多額の補助金を別府市が出しているのです、予算書及び決算書を議会に提出せよ。

答 出資の関係から自治法で定められた報告義務はないが、別府市から二億七千万円の補助金を出している関係から、今後予算書及び決算書について議会に提出できるよう検討してまいりたい。

印鑑登録で 私立大学を差別

問 別府市役所で印鑑登録のため、私立大学生が学生証を示して手続きをしようとしたが、国公立大学の学生証なら受け付けるが、私大はダメと言われ、私学に対する差別ではないかとの怒りの声が上がっている。他県の例を見ると、私学の学生証で通用している。市は差別をやめよ。

答 現在官公庁の発行している免許証や身分証明証で行っているが、私大は認めていない。今後他市の状況を調査して対応していきたい。

行財政改革の 推進について

問 行財政改革の推進については、事務事業の見直しによる民間委託の推進、嘱託職員・臨時職員の活用、振興センターへの委託料見直し、市長専用車等公用車のタクシーへの転用等を図り、経費の削減を進めるべきだ。

答 時間は要るが、できるものから実施していく。

汐見町浸水災害地域の 緊急施策を

問 汐見町・港中央通り付近は、集中豪雨や台風等により毎年四回以上浸水災害に見舞われている。事態は極めて深刻で緊急な対応施策を必要としている。具体的施策を示せ。

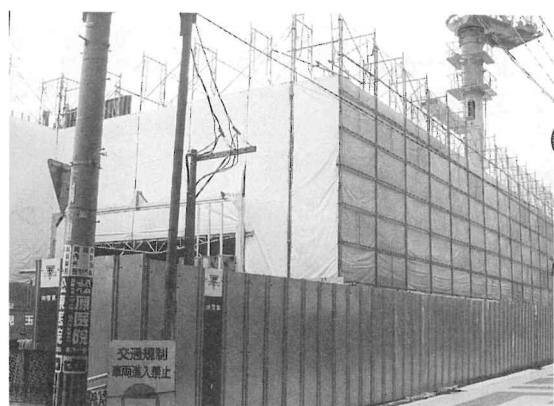
答 現況については深刻に受け止めている。現地調査の上、慎重に検討した結果、石垣東十丁目四番付近（北石垣公園北側）で水路を九州横断道路の既設暗渠へ接続することが最も有効な方法と判明。早期に実現に向けて作業を進めていきたい。

市営松原住宅の 店舗の実現を！

問 来年四月完成予定の松原住宅の店舗部分は、四月に住宅部分と同時にスタートができるのか。また、一般募集して店舗を実現すべきではないか。不況の中でもヤル気のある人はたくさんいる。この十ヶ月どう展開するのか。

答 店舗は同一業種が競合しないよう、後十ヶ月、何らかの形で方向付けをしたい。店舗広場にするとか、立命館アジア太平洋大学の開学で国

際マーケットにするとか、いろいろ考えている。



店舗部分の実現を求められる市営松原住宅

高層ビルなどの 乱開発の規制を

問 別府市には十階建て以上の高層ビルだけでも五十四カ所もある。近隣住民が反対の声を上げて、ほとんどの場合業者の計画どおりの開発が進められてきた。それは現行の環境保全条例などに「住民の同意」条項がないからだ。条例改正をすべきではないか。

答 別府市では、「住民の同意条項を盛り込むと私権を制限する恐れがある」という理由で見送られた経緯がある。提案については検討する。

特別委員会の構成

六月定例会で、新たに次の四委員会の設置と委員の選任が行われました。

観光振興及び企業誘致・大学対策特別委員会

ビーコンプラザの誘致及びリゾート関連施設等の企業誘致並びに大学対策に関する諸問題について調査研究をします。

委員長 河野 数則
副委員長 岩男 三男
委員 平野 文彦
松川 峰生
山本 一成
清成 宣明
三ヶ尻 正友
泉 武弘
内田 有彦
伊藤 敏幸
矢野 彰

交通体系及び海岸整備対策特別委員会

高速自動車道等基幹交通体系・別府狭間町生活関連道路等の整備及び海岸整備に関する諸問題について調査研究をします。

委員長 朝倉 斉
副委員長 原 克実
委員 池田 康雄
野口 哲男
野田 紀子
井田 逸朗
富田 公人
佐藤 岩男
江藤 勝彦
加藤 義則
村田 政弘

南部振興及び再開発対策特別委員会

南部地区の振興及び再開発事業に関する諸問題について調査研究をします。

委員長 浜野 弘
副委員長 高橋 美智子
委員 猿渡 久子
吉富 英三郎
黒木 愛一郎
堀本 博行

議員定数問題調査特別委員会

別府市議会の議員定数について、本市の人口規模・特性等の実情を検討し調査をします。

委員 田中 祐二
後藤 健介
佐藤 博章
永井 正正
首藤 正

委員長 江藤 勝彦
副委員長 永井 正
委員 黒木 愛一郎
平野 文彦
田中 祐二
佐藤 博章
井田 逸朗
原 克実
内田 有彦
浜野 弘
伊藤 敏幸

全国議長会から 永年勤続市政 振興功労者表彰

去る六月二十三日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により、本市議会から白石前議員、首藤議員の二人が議員在職二十年の特別表彰を受賞しました。

六月定例会の最終日に、本会議場で議長から表彰状の伝達式が行われ別府市より記念品が贈呈されました。



写真左より 井上市長、白石前議員、首藤議員、三ヶ尻議長

虚礼廃止にご理解とご協力を

公職選挙法により、政治家が、暑中見舞い状を出すことやお中元などを贈ったり、お祭りへの寄付をすることは、法律で禁止されています。

別府市議会では、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参してお参りすることになっています。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。